

乗入構造規格

福井市 建設部 監理課

乗入規格表

申請目的により通行の可能性のある自動車等の種類を判断し、下表を適用する。

型式	車種	A型	B型
		幅	幅
人及び車椅子(フラット又はセミフラットに限る)		1.2m以下	
種	乗用自動車 小型貨物自動車	4.2m以下	
種	普通貨物自動車等 (6.5t以下)	8.4m以下	7.0m以下
種	大型及び中型貨物自動車等 (6.5tを超えるもの)		

表中のA型、B型は図1のA型、B型をいう。

種については、土地利用計画及び利用車両の走行軌跡図等により判断し、必要最小限の幅とする。

取付方法については、図1を標準とし、特殊な箇所については別途考慮することができる。

出入する車種の最大のものを適用する。

車種はいずれも単車の場合である。駐車場等利用車両が多い施設や、トレーラー又は特殊な車両が出入りする箇所等では対向車線にはみ出すなど、道路管理者がやむを得ないと認める場合については、理由書を添付することで、別途考慮することができる。

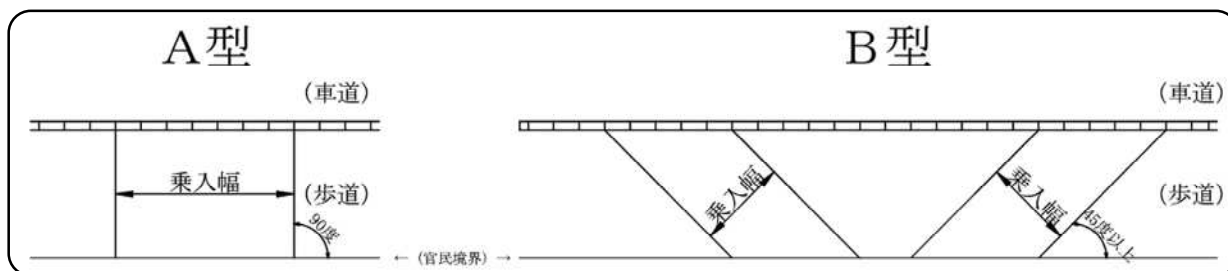
乗入幅の数値はA型、B型いずれも乗入方向に直角方向の長さとする。

乗入幅について、次に掲げる場合で、周囲の状況から交通安全上特に支障ないと認められる場合は拡張することができる。その場合の乗入幅は、図2を標準とする。

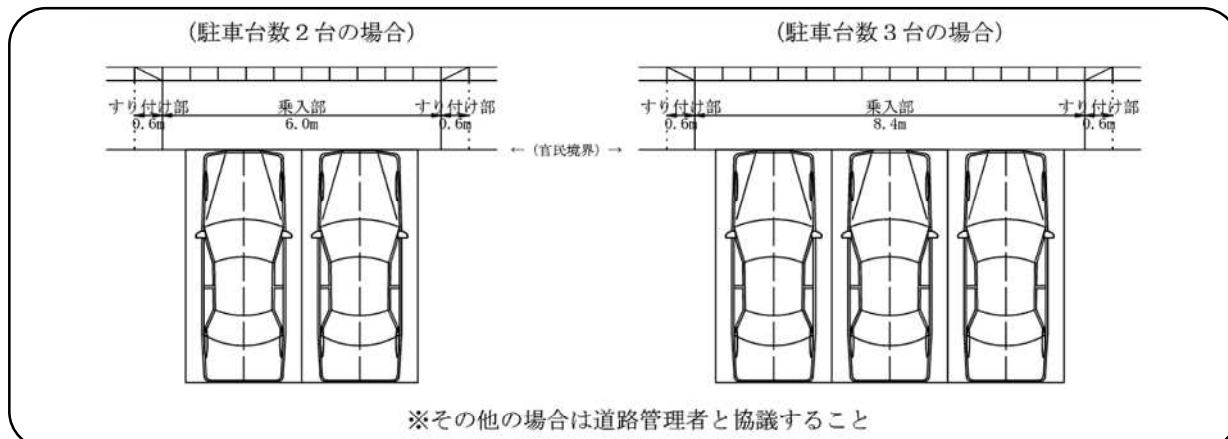
住宅等で、複数台の車両を道路に向かって並列に駐車する必要があると認められる場合。

駐車スペースの形状から、別表第1によると車両の出入が困難な場合。

【図1】



【図2】



舗 装 厚 表

乗入規格表による車種により下表を適用する。

種別	車種	コンクリート舗装		アスファルト舗装			平板ブロック舗装 インターロッキングブロック舗装		
		コンクリート	路盤	再生密粒度 アスコン	再生粗粒度 アスコン	路盤	ブロック	敷砂	路盤
人及び車椅子		周辺一般部と共通とする							
種	乗用自動車 小型貨物自動車	15cm	10cm	5cm		2.5cm	8cm	3cm	2.5cm
種	普通貨物自動車等	20cm	20cm	5cm	5cm	2.5cm	8cm	3cm	3.5cm
種	大型貨物自動車 中型貨物自動車等	25cm	25cm	5cm	10cm	30cm			

- (1) 舗装厚は出入する車種の最大のものを適用する。
- (2) 車種が自家用の種、種であり、出入りの頻度が少ない場合には、周辺一般部との連続性を持たせるため、舗装種別をアスファルト舗装又は平板ブロックもしくはインターロッキングブロックとする。また、車種が種であり出入りの頻度が少ない場合には、周辺一般部との連続性を持たせるため、舗装種別をアスファルト舗装とすることができる。なお、その他の場合には原則としてコンクリート舗装とする。
- (3) コンクリート舗装の場合コンクリート舗装要綱によるものとし生コンクリートの呼び強度(設計基準強度) $28 = 21 \text{ N/mm}^2$ 以上とし、大型車の出入りがある場合等、必要に応じメッシュ筋を設置すること。
- (4) アスファルト舗装の場合はアスファルト舗装要綱によるものとする。
- (5) 路盤材料は、原則として再生クラッシャーラン(RC-40)を使用するものとする。ただし、路盤厚 $< 15 \text{ cm}$ の場合はクラッシャーラン(C-30)を使用すること。
- (6) 申請者の都合により乗入幅を縮小する場合においても、舗装厚は減じないものとする。
- (7) 上表は申請者自らが施工する場合であり、道路管理者の工事と同時施工で道路管理者が施工する場合の舗装厚については別途考慮できるものとする。
- (8) 特殊な舗装や縁石を使用している路線では、道路整備時の仕様に基づいて別途考慮するものとする。
- (9) 平板ブロック及びインターロッキングブロック舗装の乗入部には、透水性ブロックは使用しないこと。
- (10) 種であっても、店舗、集合住宅等の駐車場等利用車両が多い施設については、種型を適用する。

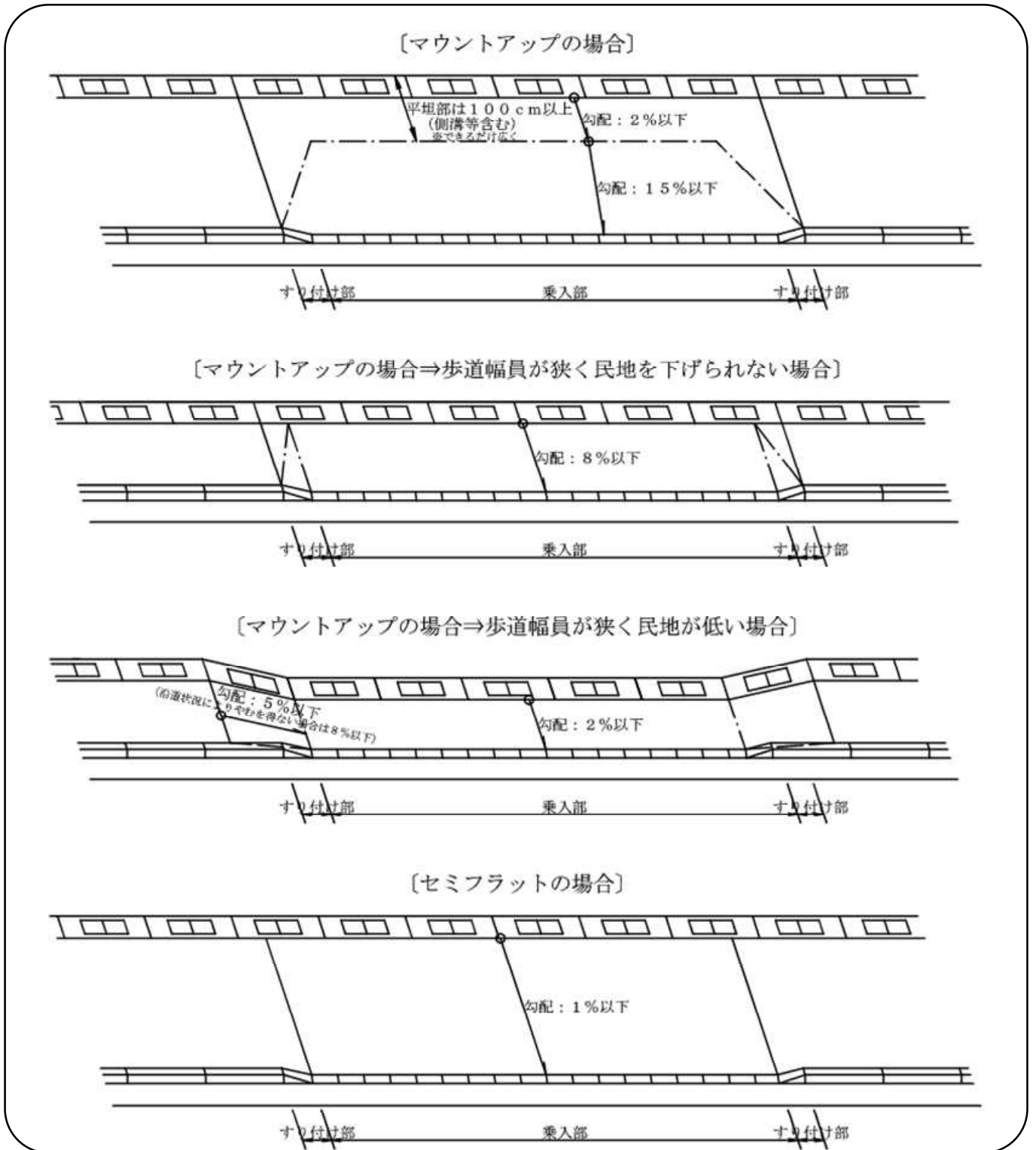
側 溝 表

乗入規格表による車種により下表を適用する。

型式	側溝	蓋
種	既設側溝使用可。ただし、既設側溝が現場打、歩道用もしくは蓋を設置できない構造である場合は、落ちふた式側溝(車道用)、自由勾配側溝(縦断用もしくは横断用)に布設替すること。 なお、既設側溝がない場合は、落ちふた式側溝(車道用)、自由勾配側溝(縦断用もしくは横断用)を新設すること。	コンクリート蓋 もしくは グレーチング蓋 (T-25対応)
種 種	既設側溝が現場打もしくは歩道用、落ちふた式側溝(車道用)、あるいは自由勾配側溝であっても縦断用である場合は、自由勾配側溝(横断用)に布設替すること。	グレーチング蓋 (T-25対応)

- (注1) 種であっても、店舗、集合住宅等の駐車場等利用車両が多い施設については、種型を適用する。
- (注2) 蓋をグレーチングとする場合は全て落ちふた式であることとし、上ぶた式(羽根付き:引っ掛け型)は認めない。
- (注3) 埋設型枠を使用する場合、T-25対応とすること。
- (注4) 側溝の布設替もしくは新設が困難な場所については、道路管理者と協議すること。

歩道改築標準図



車両の安全な通行に支障をきたすことのないよう、必要に応じすり付け部を考慮する。

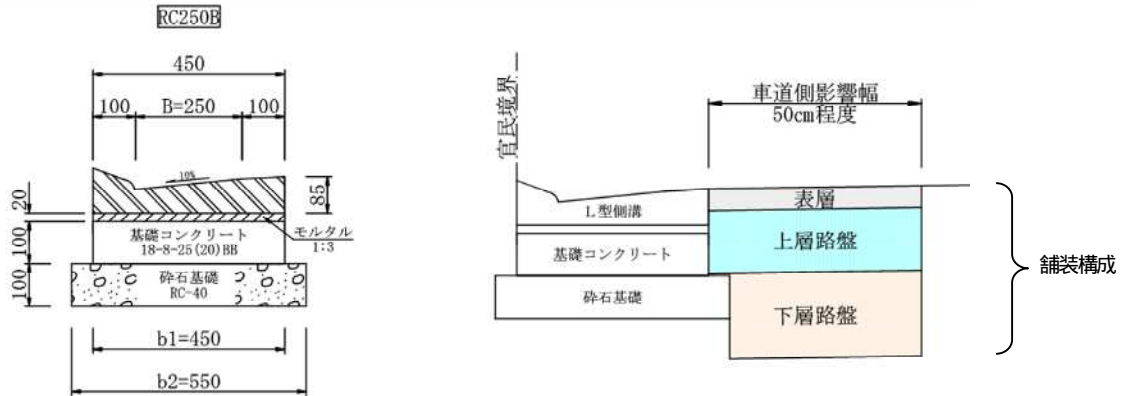
勾配の変化する箇所に、角を設ける必要は無い。

その他の場合は、道路管理者に協議すること。

L 型 側 溝

- ・ 現場状況により使用する側溝を決定すること。
- ・ 種の場合は、組合せL型側溝を使用すること。ただし、組合せL型側溝一体型（コンクリート二次製品：L = 2 m）の使用は認める。
- ・ 歩道が無くL型側溝のみを入れ替える場合、組合せL型側溝が使用可能な場合は組み合わせL型側溝を使用できる。
- ・ 基礎（碎石、コンクリート）も含めて施工すること。なお、既設基礎が流用可能な場合は使用を認める。
- ・ プレキャストL型側溝の場合、工事による車道側影響幅は50cm程度とし、車道の通行区分に応じて復旧すること。

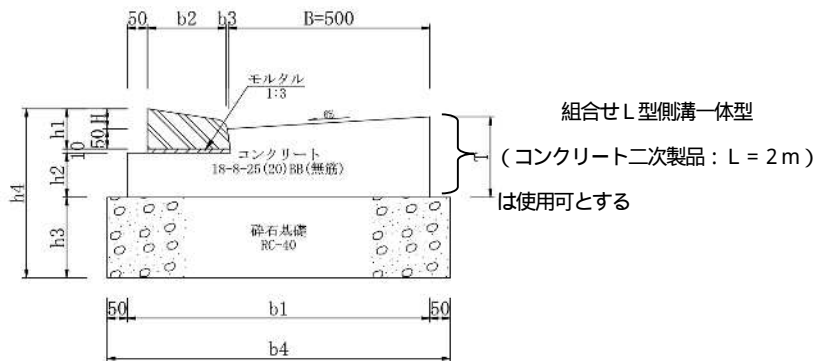
（プレキャストL型側溝）



※官民境界に設置する場合はb2とb1を同一にできる

（注）舗装構成は道路管理者に問い合わせること

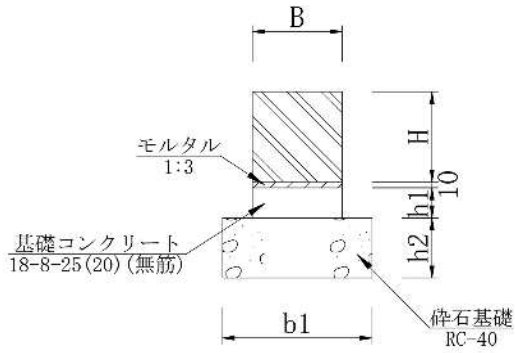
（組合せL型側溝）



※官民境界に設置する場合はb4とb1を同一にできる

種別	寸 法 表 (単 位 : mm)										
	B	H	T	b1	b2	b3	b4	h1	h2	h3	h4
種 種	500	50	200	715	160	5	815	100	110	200	420
	500	50	200	750	195	5	850	100	110	200	420
	500	50	200	755	200	5	855	100	110	200	420
種	500	50	250	715	160	5	815	100	160	250	520
	500	50	250	750	195	5	850	100	160	250	520
	500	50	250	755	200	5	855	100	160	250	520

地先境界ブロック



形式	寸法表 (単位: mm)				
	B	H	b1	h1	h2
A種	120	120	220	100	200
B種	150	120	250	100	200
C種	150	150	250	100	200

ブロック形式は現況に合わせること。

乗入部への適用は 種までとし、 種の場合は道路管理者と協議すること。

歩車道境界ブロック塗装図

